



令和8年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 特許庁長官表彰

知財活用企業(特許)

株式会社Mizkan Holdings

代表取締役社長 中埜 裕子

企業概要

<https://www.mizkanholdings.com/ja/>

所在地：愛知県半田市中村町2-6

創業：1804年

資本金：10百万円

従業員：約3,600人(グループ全体)

事業概要：ミツカングループ全体の経営統括、戦略策定、研究開発

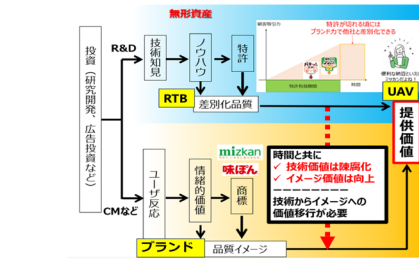


受賞のポイント

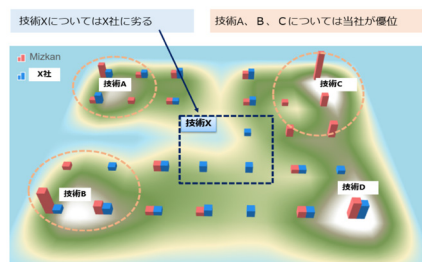
- ①事業会社では酢・ポン酢・納豆などを中心に家庭用・業務用調味料を製造販売。2019年、素材の皮や芯まで全部使っておいしさと栄養を引き出す「ZENB」ブランドを立ち上げ。健康や環境に配慮した「新しい食」を提案。
「ZENB」は、事業の立ち上げ段階から知財部門が参画。従前の開発結果を下請け的に特許出願する体制から、事業方針全体を俯瞰しビジネス的に要となる技術を重点的に特許出願し保護する方針に転換。新規事業での学びを既存事業にも展開し、技術の重要性を「ブランドに価値が蓄積するか」という観点で評価する「ブランド提供価値を軸とした特許戦略」によって、全社的なブランド価値向上にも貢献。
- ②「ZENB」事業で培った、食感の悪い非可食部を食べやすくする粉砕・加工技術等の自社技術をシーズにして、野菜調達、製造、物流、小売り等のパートナーのアセットと、知財を通してつながることで、自社だけでは参入が困難な市場開拓に挑戦。余剰特許網を有効活用。
- ③特許ポートフォリオをインテリジェンスとして分析し、自社の強み・弱みの評価、出願の必要性の確認、他社との協業可能性の検討、他社との交渉時の説明材料等、様々な局面で活用。



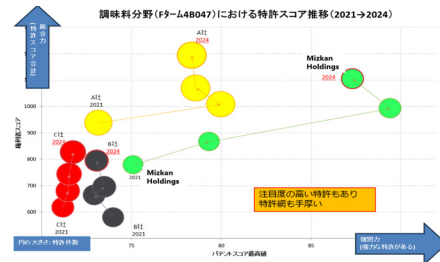
ZENB ブランド 商品画像(2025.11月時点)



ブランド提供価値を軸とした特許出願戦略(イメージ)



特許情報を活用した技術情報分析(当社 vs 競合)



調味料分野における特許スコア推移の各社比較